年度 H27 業務名 | 国道482号外構造物修繕工事「測量設計業務委 | 発注者名 | 鳥取県鳥取県土整備事務所

◆業務内容、業務上創意工夫した点、苦労した点

業務内容

当業務は、鳥取県鳥取市佐治町内において、高低差40mを超える道路沿いの長大斜面において、老朽化した斜面の修繕工事を行うための測量設計を実施したものです。従前の斜面にはモルタル吹付工が施されていましたが、経年劣化によって地山からの浮きや亀裂が発生しており、そのまま残置するとモルタルが剥がれ落ちる危険性がありました。このため、当工事では、これらの老朽化したモルタルを全て撤去し、吹付のり枠で更新しました。吹付のり枠の設置により、斜面の風化防止を図ると同時に緑化を実現しました。

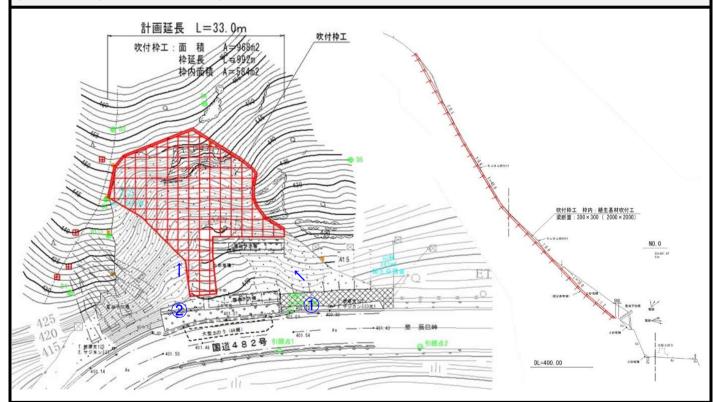
創意工夫した点(工法選定)

現場は凹凸のある急斜面で、この現場条件のもとで山切りを行わずに対応できる工法とする必要がありました。地山への追随性があり、斜面の凹凸に対応できる吹付のり枠工を選定しました。

苦労した点(施工検討)

現場は急斜面であり、人力による高所作業は困難で大きな危険も伴うため施工方法の立案に苦労しました。その結果、遠隔操作による掘削機(小型バックホウ)の無人化施工を提案しました。

◆設計図面(本業務での成果品)



◆完成状況写真(設計図面に基づく施工)



